2025年度（R7年度）ガイダンス

地圏環境科学科（地圏進化学コース）学部４年生

地学専攻（地圏進化学講座）大学院生　対象

日時：４月7日（月）９:00～11:00

会場：合同C棟　アオバサイエンスホール

学科長・専攻長：武藤　潤

教務担当教員：鈴木紀毅

共通

始める前に・・・・

【ガイダンス資料入手先】
http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/private/academic_affairs/#guidance
（学内のみアクセス可）

当日配布しません。ガイダンス当日までに、自分の学年の項目の資料を確認しておいてください（地惑分野・地質分野の項目も入っていますので、間違わないでください）

共通

忘れる前に・・・・

＊令和7年度自修会委員の選出

3年生：●●●●　地圏より選出（毎年度新規に選出）

4年生：●●●●（3年生の委員が継続する）

大学院修士：（地質地理交互選出：奇数年度(R7)が地質）

大学院博士：●● ●●（地質地理交互選出：偶数年度（R6）が地質）

教員：●●●●（地質地理交互選出： 偶数年度（R6）が地質）

共通

提出・要回答事項：1

＊連絡先入力フォーム

HP:東北大学理学地球科学系・

理学研究科地学専攻 トップ　＞

内部向け情報　＞教務情報　＞ガイダンス

「ガイダンス」から該当する各専攻・各学年の項目へ→「入力フォーム」

※大学のIDでGoogleのログインしておくこと

※「地学連先情報入力フォーム」が開きます

速やかに入力しましょう。

東北大学理学地球科学系・理学研究科地学専攻
http://www.es.tohoku.ac.jp

共通

提出・要回答事項：２

地質/進路希望調査（学部4年/院生）

https://forms.gle/FpUysKkXGjwz3oHBA

回答〆切：
４月１5日
（火）
17時まで

ガイダンス後、メールでリンク先をお知らせします。

MI

提出・要回答事項３：（M1のみ）

学習状況・進路希望アンケート（2025年度MI）

回答〆切：
４月１3日（日）
24時まで

（注）一つ前と似たアンケートですが、調査元が異なるために、データ共有ができません。

https://forms.gle/txQ6WDNm88mopTYs7

院生

提出・要回答事項：４（院生のみ）

「アドバイザリーボード調書」の提出

・記入調査用紙（wordファイル）に記入
・担当者（木幡）（kohata@tohoku.ac.jp）まで**添付ファイル**
・提出の際、**CCに担当教員を入れ**送付すること
・指導教員とアドバイザリーボードの**同意を得ての人選**であることを確認

・院生**本人が人選**（指導教員との協議**不要**）
・研究や大学生活全般で必要に応じてアドバイスをもらうことを希望する教員を選ぶ
・複数名選出（**指導教員除き，２名以上**）
・**その内1名はグループ以外**の教員を選出。
・アドバイザリーボードと修士論文や博士論文の論文審査委員会の審査委員とは別物です（審査委員を院生は人選できません）

回答〆切：４月１6日（水）17時まで
ガイダンス後、メールで調査用紙お送りします。

共通

通年通しての提出書類

提出・要回答事項：5

学外研究活動計画書の提出（義務）

【提出対象】野外調査，学外機関での分析など研究活動に係る出張等，学会の参加，その他類する活動
【注意】国内外，期間の長短，公費・私費に関わりなく要提出
【提出方法】Google formから届け出
https://forms.gle/2fdS1oKUJvXZ5qL86

※事前に指導教員にも許可を得ておくこと。

詳細は、ガイダンス後メールにてお知らせします。

※提出書類は、学生院生の所在把握はもとより学外で不慮の事故等が発生した場合、保険適用の重要な証明書類となります。

共通

提出・要回答事項：6

通年通しての提出書類

「インターンシップ願」提出

【参加許可要件】
申告制。学業（研究や授業）に支障がないことを指導教員や学科長と確認し、参加について承諾を得る必要がある。

【 提出先（メール）】
・地学教務窓口（tigaku-kyom@grp.tohoku.ac.jp）。
指導教員と木幡をccに加え提出。（教員の押印は不要）

【書類の入手先】
地学専攻ＨＰの内部限定からダウンロード

【備考】
・インターンシップよりも授業、実習を優先すべきであり、学業に支障が出ないよう注意。

【終了後】
・インターシップ報告書を提出する
（提出先は「インターシップ願」と同様）

事前届出は必須

共通

教務関係：1

＊ **学生便覧**を熟読すること

＊ Web履修について

・東北大ウェブ SRPから、東北大学ポータルサイトから、学務情報システムへ。

・登録期間があるので、忘れずに登録する。

・修正期間後の登録は難しい。

＊ キャンパスライフ支援室にて、履修相談ができる。

➡合同A棟 307号室　岩渕 将士相談員・菊地 幸恵相談員

学部4年

教務関係: 2

＊ **履修単位数を確認！**（124単位：うち必要要件を確認のこと。教職科目と自由聴講科目はカウントされないので注意：便覧　P47–49）

＊ 履修単位上限　28単位／セメ（4～8セメ）。
ただし、実習・演習・集中講義・教職・自由聴講を除く。

＊ **奨学金制度**には、日本学生支援機構の奨学金の他、様々な奨学金の募集がある。奨学金情報については、学務情報システムから随時募集要項が送付される。応募する場合は、教務課学生支援係に連絡する。理学部・理学研究科ウェブサイト（在学生の方へ＞授業料・経済支援）に奨学金募集一覧がある。応募には履修状況が良好であることが前提となる。

＊ TOEFL ITPを受験できる。

学部4年

教務関係：3

2022年度学生便覧（p. 47）より

さらに6単位必要

116単位

32＋4＋10＋2単位

68単位

区　　分	修得を要する授業科目，単位数等
全学教育科目	以下の基盤科目・先進科目・言語科目及び学術基礎科目に記載されている要件（計46単位）を含め48単位
基盤科目 先進科目 10+4単位	人文科学群から2単位以上 社会科学群から2単位以上　10+2+2=14 学問論群，学際科目群，先進科目類から，次の科目を含めて10単位以上 学問論　2単位 自然科学総合実験　2単位　2+2+2+4=10 情報とデータの基礎　2単位
言語科目 10単位	英語Ⅰ－A，Ⅰ－B，Ⅱ－A，Ⅱ－B，Ⅲ，Ⅲ（e-learning）の6単位 初修語の基礎Ⅰ，基礎Ⅱ**から4単位
学術基礎科目 12+10単位	次の要件を含めて　22単位以上 基礎数学群から2単位以上 基礎物理学群から2単位以上　2×4+4+10=22 基礎化学群から2単位以上 基礎生物学群から2単位以上 基礎宇宙地球科学群から地球システム科学，地球物質科学の4単位
専門教育科目 68単位	必修授業科目　22単位 → 26 選択必修授業科目から6単位以上 → 4 選択授業科目から40単位以上 → 38 なお，選択授業科目の単位には，関連科目の単位を含めることができる。

* 表の要件の合計は116単位となる。残り8単位は全学教育科目，専門教育科目のいずれでもよい。

学部4年

教務関係：4

＊　所属学科の開講科目を優先受講する。

＊　積み上げ式の科目は「選択科目」でも受講すること。
「基礎野外実習II」->「野外実習 I」->「野外実習 II」

＊　他学科関連科目申請（教務課窓口へ申請）

＊　所属コース（地質）で開講する集中講義はすべて受講すること。

＊学部むけ，2025年度に開講する集中講義
・地圏環境地圏環境科学特選科目V（５・７セメ）
（北大　山本正伸教授：7月）

院生

教務関係：5

2025年度（R7年度）の開講科目に関して：

※修士：所属専攻の科目表から30単位（うち専門科目22単位以上）
※非開講・隔年科目があるので注意（時間割表、便覧を確認すること）。
※実際の開講学年・開講時期が異なる科目がある。
※卒業要件単位数＋４単位を受講すること（34単位以上）！

＊博士課程前期むけにR7年度に開講（合計12単位）
- 地殻力学特論I（武藤：前期・水・３限，合A204）
- 変成岩特論I （辻森：前期[奇数年度]・金・２限，地513）
- 地圏環境進化学特別講義II（山本：前期・集中７月）
- サンゴ礁学特論（浅海：前期[奇数年度] 集中）
- 自然災害学特論（菅原ほか：後期・水・１限，地513）
- 群集進化学特論（鈴木：後期[奇数年度]・木・２限，地513）
- 地球物質循環学特別講義（高橋美紀：後期[奇数年度]・集中)

＊博士課程後期むけにR7年度に開講
- 環境動態論特殊講義（山本：前期・集中７月）

＊卓越大学院開講科目（地学の単位になります）
- プロジェクトマネジメント論など（２単位）

共通

資格取得について

＊　教職免許は卒業前に申請すること（学部生用学生便覧 p. 127）
（手続きに関しては、11月末ごろ掲示の予定）

＊　学科開講科目と時間割がかぶっている場合，自学科を先に受講

＊　教職科目うち、生物学「分子生物学」（学部生用便覧p. 42, p. 123）
は自由聴講科目なので、卒業認定単位にならない。

＊　教職科目うち、生物学「生態学」は2025年度から非開講

＊　学芸員資格には免状といったものはない（学部で必要単位を取得し、
学芸員資格認定試験を受験。単位取得状況により免除になる可能
性あり、詳しくは学部生用便覧 p. 128）

＊　測量士補の資格は、測量に関する科目40単位を修得後、
地理院へ申請する。　（詳しくは学部生用便覧 p. 129）

共通

学生生活の注意事項：１

＊　**休学・復学・退学**

　指導教員や教務教員（鈴木）に相談し、学科長（武藤）に申し出ること

＊　**２つの保険加入（ほかの保険に入っていても加入必要）**

・学生教育研究災害傷害保険（学研災）
・学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

※授業･実習に参加ができません
※過年度生は**再度加入**
※加入状況が分からない場合は、理学部教務窓口で確認

＊　**事故にあった際**

・指導教員、教務課事務室（022-795-6645）に必ず連絡
・救急車搬送時に、「東北大生である」とことを伝えると、東北大学病院救急救命センターに優先的に搬送してもらえる

共通

学生生活の注意事項：2

＊ **過激派・宗教団体・闇バイトなどに注意**
同好会に扮していることがある。何かあれば相談

＊ **違法薬物**
輸入・使用・譲受・所持等の禁止。（懲戒退学、奨学金返還、懲役刑の厳しい処分。肉体精神に障害、突然死も）

＊ **ハラスメントの禁止**
アルコール，匿名攻撃，つきまとい，いやがらせ，恫喝。

＊ **悩みや健康状態に不安があったら（不調２週間以上が目安）**
・キャンパスライフ支援室（配付資料）
・学生相談所
・健康管理センター（内科・外科・歯科・精神科）

学部4年
MI・DI
(他大入学者向け)

「研究室配属時教育」は**必ず！受講**すること。
出席確認があります。
５月オンライン．**日時が決まり次第連絡があります。**

共通

その他の重要事項

＊　大学のメール（@dc.tohoku.ac.jp）を一日数回はチェックすること（学務および日常の様々な情報が送られる）。他に常用のアドレスがある場合は、転送設定を行い、確認を怠らないこと。該当する要件には返信すること。スパムメールは無視すること（知人を語って送ることもある）。

＊　**連絡先入力フォーム**への回答。災害時、安否確認の連絡に重要。取扱厳守。メールアドレスは、携帯電話等の個人アドレスを記載してください。

＊　**定期健康診断のNet予約（予約期間：4月11日～5月7日）**
診断実施期間：4月21日（月）～25日（金），5月7日（水）～２０日（火）（土・日・祝日を除く）
https://www.health.ihe.tohoku.ac.jp/4574-2/

※Web問診回答後にNet予約を取得し予約日時に受診

学部4年

大学院進学（地学専攻へ）

2025年8月実施予定の大学院博士課程前期2年の課程一般選抜試験（2026年4月入学）から、外国語科目（英語）の評価として、**国際的な英語学力テストであるTOEFL® Test、TOEIC®、IELTS™のいずれかのテストのスコアを利用**することとしました。

本研究科地学専攻博士課程前期2年の課程の受験を考えている方は、下記の「理学研究科大学院入学試験（地学専攻・博士課程前期2年の課程）における TOEFL®Test、TOEIC®、IELTS™の利用について」に記載されている事項をよく読んで準備を進めてください。

リンク先
「理学研究科大学院入学試験（地学専攻・博士課程前期2年の課程）における TOEFL®Test、TOEIC®、IELTS™の利用について」

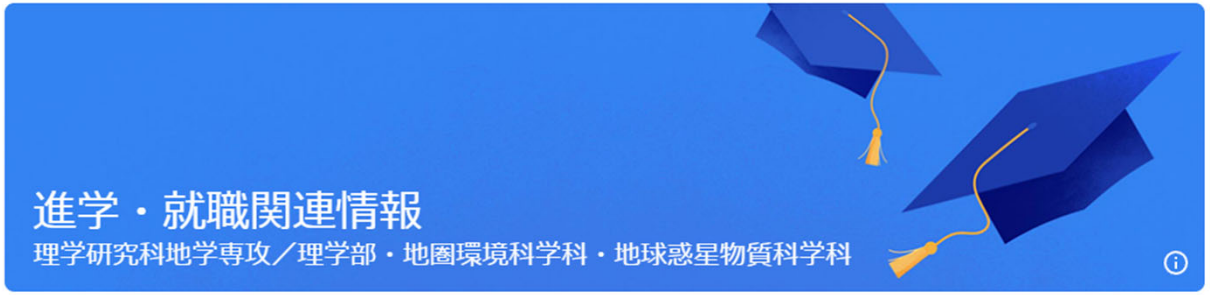
https://www.es.tohoku.ac.jp/JP/wp-content/uploads/2024/12/20241220_2.pdf

共通

就職関係：１（情報）

classコード
e2pqd7b

R6年後期より、メール周知からclassroom上での周知に移行しました。各自コードを登録し情報得ててください。



- 東北大キャリア支援センターからのお知らせ
- 進学情報（イベント、他）
- アカデミック関係 公募_教員公募、研究者公...
- キャリア支援イベント情報（官公庁、法人、...
- 求人資料リスト_WEB（求人票、パンフレット...
- 求人資料リスト_紙媒体（求人票、パンフレッ...
- インターシップ情報
- キャリア支援イベント情報（一般企業）キャ...

共通

就職関係：2（支援）

＊　地学専攻の2025年度キャリア支援委員は武藤先生（地圏）、栗林先生（地惑）です。就職の相談等は各先生へ申し出る。

＊　地学専攻に届いた求人資料やパンフレットは、地学専攻事務室向いの棚にリスト番号順に設置。自由に閲覧できる。

＊　川内キャンパスにあるキャリア支援センターにて、就職相談、エントリーシート作成の指導などを行なっているので活用してください。

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/

＊　理学博士のための就職支援「サイト ビズ・リガク」

https://biz.sci.tohoku.ac.jp/

共通

就職関係：3

＊　求人で地学専攻並びに学科枠の推薦のあるものは、**事前に必ず**キャリア支援委員に申し出て、他推薦者の有無を確認し、推薦の許可を得てから申請する（事後承諾は難しい場合が多い）。

＊「学校推薦」を求められた場合，専攻および学科からの推薦人数を超えない範囲で対応します。

※就職活動にあたり、 学生諸君には企業との信頼関係を考慮した対応を要請します。信頼に反する行為をした場合、迷惑は後輩達が負うことになります。

院生

経済支援（支援プログラム）

博士後期学生（一部博士課程前期への支援も含む）への経済支援事業

1. 学際高等研究教育院（院・便覧　p. 46–49）

分野融合を目指す若手研究者を養成

2. 環境・地球科学国際共同大学院プログラム（GP-EES）　（p. 59–63）

リーダーシップを持つ国際性豊かな研究者を育成

3. 変動地球共生学（SyDE）卓越大学院プログラム　（p. 79–86)

産官学連携により様々な場面で活躍する高度専門人材を育成

4. 次世代育成「サイエンス・アンバサダー」（SA)

小中高校生に対して科学の魅力を伝え、次世代の研究者を育成

*1–3はいずれも月額16万円程度の経済支援あり（返還不要の奨学金）

院生

（例）SyDE（変動地球共生学卓越大学院プログラム）

実務家の特任教授や、企業/官公庁/研究期間からのの講師による、通常とは変わった講義や実習があるという点がポイント

・地学専攻学生は，SyDEプログラム生でなくても受講可能

（注：旅費がかかる課題は，プログラム生以外は自己負担）

https://syde.tohoku.ac.jp/

・関連科目として一部を修了要件単位に含めることができる

（詳しくは教務に問い合わせる事）

・M1の間に履修すれば，M2からSyDE編入した人は既習扱いに

・履修登録希望者は事前に支援事務室へ連絡すること

syde-office@grp.tohoku.ac.jp

院生

●産学共創特別講義 III（修士）・産学共創特殊講義 III（博士）

後期・月曜・４限（時間割表の地学専攻・B分野に掲載）

●プロジェクトマネジメント論（修）・産学共創特殊講義Ⅰ（博）[英語]

開講日：4/11，4/25，5/16, 5/30, 6/13, 6/27, 7/10, 7/11（7/10以外は金）

時限：３・4限

●防災の国際潮流と仙台防災枠組（修）・変動地球共生学特殊講義Ⅰ（博）

開講日：10/3，10/17，10/31, 11/14, 11/28, 12/12, 1/8, 1/9（1/18以外は金）

時限：３・4限（ただし，10/31は洪水対策現場巡検 12:30～17:30）

●世界リスクマネジメント学

英語オンデマンド講義視聴＋議論

●Iラボ（Integration Lab) 研修I・II（後期随時）

課題ごとに受け入れ上限あり

履修登録期間の後半に人数調整

充実した学生・研究生活を過ごしましょう

東北大学理学地球科学系・
理学研究科地学専攻

http://www.es.tohoku.ac.jp

**ガイダンスの資料・新学期の配布資料・回答フォーム等は
すべて地学専攻HPに掲載されています。
必ず、HPをチェックして、新年度をスタートさせましょう。**